



47小松市民茶会



43七尾市民文化祭 茶会

44羽咋市文化祭 茶会

11月3日(土・祝) / 【羽咋市】 / コスモアイル羽咋 / 無料 / ☎0767-22-9331 / 羽咋市教育委員会生涯学習課



44羽咋市文化祭 茶会

45穴水町文化祭 お茶席

11月3日(土・祝) / 【穴水町】 / のとふれあい文化センター / 300円 / ☎0768-52-3401 / 穴水茶道会

46志賀町文化祭 茶会

11月3日(土・祝) / 【志賀町】 / 志賀町文化ホール / 無料 / ☎0767-32-1111 / 志賀町文化協会

47第22回小松市民茶会

11月3日(土・祝) / 【小松市】 / 仙叟屋敷ならびに玄庵、小松市民ギャラリー / 2席で1,500円(前売)、2,000円(当日)、高校生以下1,000円 / ☎0761-24-8130 / 小松市民茶会実行委員会(小松市文化創造課内)

48能美市総合文化祭 抹茶席、煎茶席

11月3日(土・祝)・4日(日) / 【能美市】 / 抹茶席(3日): 能美市根上学習センター「松海庵」、煎茶席(4日): 能美市根上総合文化会館 / 500円、小学生以下300円(予定) / ☎0761-57-0030 / 能美市茶道協会(寺井地区公民館内)

49市民お茶会

11月3日(土・祝) / 【白山市】 / 松任ふるさと館 / 1,500円(前売)、1,700円(当日) / ☎076-274-2511 / 白山市茶道協会(市民工房うらわし内)

50能登町文化祭 茶席

11月4日(日) / 【能登町】 / 内浦総合運動公園 / 無料 / ☎0768-72-2509 / 能登町文化協会

51第43回銭五茶会

11月11日(日) / 【金沢市】 / 銭五の館 / 1,500円 / ☎076-267-2333 / 銭五の館

52安楽庵ふれあい茶会

11月11日(日) / 【白山市】 / 松任安楽庵 / 700円 / ☎076-274-2511 / 白山市茶道協会(市民工房うらわし内)

53紅葉茶会

11月中旬(2日間) / 【金沢市】 / 金沢城公園「玉泉庵」 / 720円 / ☎076-234-3800 / 金沢城・兼六園管理事務所



53紅葉茶会

54中村記念美術館 秋の茶会

11月(予定) / 【金沢市】 / 中村記念美術館「耕雲庵」 / 未定 / ☎076-221-0751 / 中村記念美術館、中村記念美術館友の会の共催



54中村記念美術館 秋の茶会

55一般呈茶会

12月2日(日) / 【能美市】 / 能美市根上学習センター「松海庵」 / 500円 / ☎0761-57-0030 / 能美市茶道協会(寺井地区公民館内)

56雪見茶会

2月2日(土) / 【白山市】 / 千代女の里俳句館 / 700円 / ☎076-274-2511 / 白山市茶道協会(市民工房うらわし内)

57花と緑のいちごまつり2019 お茶席

3月16日(土)・17日(日) (予定) / 【野々市市】 / 野々市市文化会館フォルテ / 500円 / ☎076-227-6121 / 花と緑のいちごまつり実行委員会(野々市市文化課内)、野々市市茶道協会



57花と緑のいちごまつり お茶席

58中村記念美術館 春の茶会

3月21日(木・祝) / 【金沢市】 / 中村記念美術館「旧中村邸」 / 未定 / ☎076-221-0751 / 中村記念美術館



58中村記念美術館 春の茶会

59学生茶会

3月21日(木・祝) / 【金沢市】 / 中村記念美術館「耕雲庵」 / 600円 / ☎076-233-0082 / 表千家同門会石川県支部



59学生茶会

60第39回 津幡町椿展 茶会

3月31日(日) / 【津幡町】 / 津幡町文化会館シグナス「深見亭」 / 無料 / ☎076-288-8526 / 祐閑寺名月椿保存会、津幡町笠井公民館



てまえ お点前で使う 主な茶道具

季節や趣向に応じて、亭主はさまざまな茶道具を揃えて客をもてなします。道具に注目することも、茶道の楽しみの一つです。



ふろ かま
風炉・釜

お茶に使う水を沸かすための道具。特に風炉にはさまざまな材質・形状があります。



みずさし
水指

茶席で使う水を入れておく器です。釜に足すだけでなく、茶碗をすすぐときなどにもこの水を使います。



なつめ
棗

抹茶を入れる茶器の一つ。濃茶用、薄茶用にさまざまな道具がありますが、薄茶用の茶器を総称してこの呼ぶケースも多いようです。



ちやわん
茶碗

お茶を飲むための器。多くの種類があって、亭主は季節や趣向に合った茶碗を用意します。銘(名前)のついた高価な茶碗もあります。



ちやせん
茶筌

茶碗に入れた抹茶と湯を混ぜるための道具。ほとんどは竹製で、流派によって使う竹の種類や色が異なります。



けんすい
建水

茶碗を清めたり、温めたりしたときに使った水(湯)をここに捨てます。「こぼし」という別名もあります。



ちやきん
茶巾

茶碗を拭く布。通常は水に浸してあるものを使います。流派によって使い方やたたみ方に違いが見られます。



ひしゃく
柄杓

釜や水指から水をくむために使います。茶道では、一般的な柄杓とは大きさ、長さが異なる専用の柄杓を使います。



ちやしゃく
茶杓

茶器から抹茶をすくって茶碗に入れるための道具です。重んじられる茶道具の一つで、中には銘がついているものもあります。



ふたおき
蓋置

釜の蓋や柄杓を置くために使われます。竹や金属、陶器でできたものなど、数多くの種類があります。

とこ 床にも注目、 掛物と花入

茶席でまず拝見する「床の間」は、亭主の心遣いに満ちています。



かけもの
掛物

床の間に飾る軸で、文字や絵画のものがあります。茶会のテーマや姿勢が表れるため、亭主がもっとも気を配るところです。



はな入れ
花入

掛物と同じく床の間に飾られ、花とともに亭主が力を入れる部分の一つです。金属や陶器のほか、竹製、かご形などの種類があります。